

病院建築の計画的な研究

学校付属病院 (3) 教育・研究機能の発展に関する考察

正会員 青木 正夫*1 同 新谷 肇一*2 同 友清 貴和*3
同 高須 芳史*4 同 景山 正浩*5 同 篠原 宏年*6

○はじめに

前稿では、ブロックプランの発展を考察するにあたり、その形態にとらわれがちであったが、今回は、学校付属病院の機能に着目し、その発展を考察する。その際、第1報では、教育・研究機能の発展について、第2報では、患者の治療・生活機能の発展について各考察を行い、第3報では、それらを総合して学校付属病院の機能の発展を考察する。

ここで、発展を見る場合に、まず「ある目的をもった機能が生まれ、その機能に対応した空間が発生する(この機能に対応した空間を機能空間と定義する)。この機能空間内において機能の分化が起こると、その分化した各々の機能に対応する新たな機能空間が分化する。(この過程をくり返される) この分化の過程において支配的な機能のもとに他の機能が系列化され、こ

れに伴って機能空間も系列化されていく」という視点をもって考察していく。

以上のことを踏えて学校付属病院の主要な目的である教育・研究機能に着目して考察する。教育・研究の機能を分類すると、表3-1のようになる。初期の段階においては、これらの機能は明確に分化しておらず、これらの機能の分化・専門化・系列化の過程をもって、教育・研究機能の発展を計ることが出来る。

ここでこれらの機能の分化・専門化・体系化の過程を考察すると、臨床講義機能がまだ発生前の段階(Step 1)、臨床講義機能が分化・独立していく段階(Step 2)、分化・専門化した臨床研究機能によ

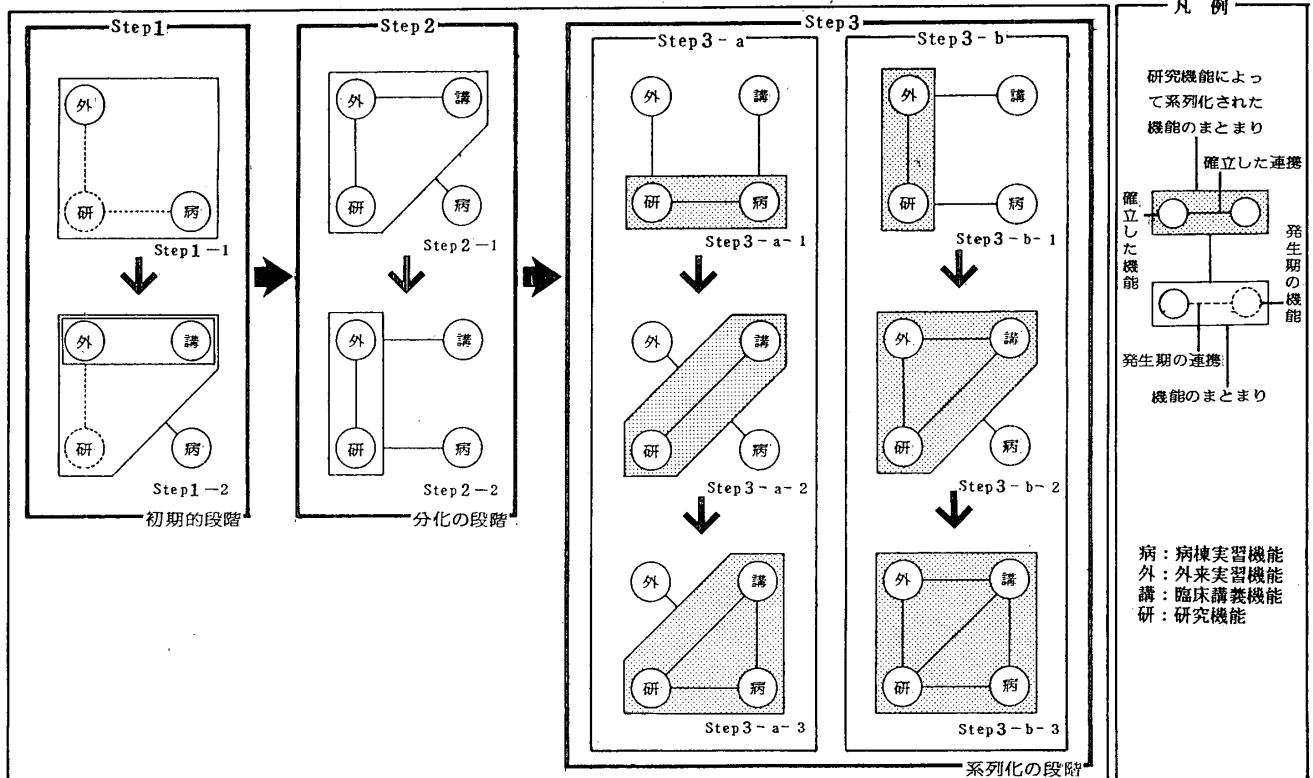
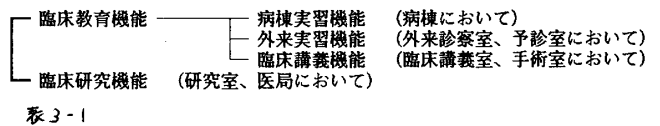


図3-1 教育・研究機能の発展モデル

A study on the history of architectural planning of hospital
Hospitals attached to medical institutions
Part I A study on the development of the function in medical treatment.

臨床教育の諸機能が系列化される段階 (Step 3) の3つの段階からなる発展モデルが提出できる (図2-1)。以下それぞれStepについて考察を進める。

○Step 1 臨床講義機能がまだ発生期の段階

この段階は、臨床教育機能のうち、初期には医学校で行われていた臨床講義機能が、病院の外來診療を利用して行われはじめ、かつ臨床研究機能が発生する段階である。

Step 1-1 病院に臨床講義機能がない段階

この段階では、臨床講義機能はまだ病院に入りこんでおらず、空間的には、むしろ医学校の方にとられていいる。外來実習機能と病棟実習機能はすでに存在しているが、臨床研究機能はまだ発生期の段階であり明治6年の新瀉病院 (図4-3) では教授室がとられている。

Step 1-2 病院に臨床講義が入ってくる段階

この段階になると、病院に臨床講義機能がとられてくるが、外來実習機能の空間の中に入りこんでおり、明確には分化されていない。明治10年の愛知県病院 (図3-2) では、最初医学校の教場が臨床講義が行われていたが、教材が備わっていないため教育効果がうすいので病院の診療所の中で行われるようになった。

○Step 2 臨床講義機能が分化・独立する段階

この段階では、臨床教育機能が、外來診療室から分化・独立し、充実してくる。

Step 2-1 臨床講義機能が分化してくる段階

明治15年の医学校通則により、臨床教育の科目数が増加された。また、教師を養成するための甲種医学校

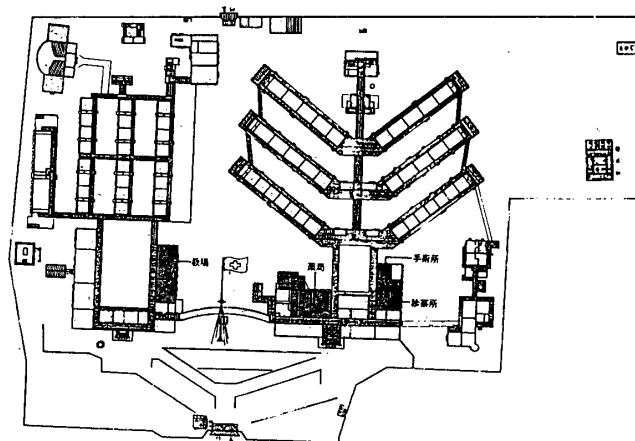


図3-2 愛知県病院 (M. 10)

医師を促成するための乙種医学校とに医学校のランク付けが行われ、そのために各医学校は甲種医学校として認められるべく教育システムや施設の充実をはかったがそのために病院に臨床講義室が確保されてくる。明治10年の東京医学校附属病院 (図3-3) では、早期において、内科教場、外科教場が診療所から分離されている。

Step 2-2 臨床講義機能が独立している段階

臨床講義機能が充実することにより、臨床講義室が外來部から独立してとられるようになった。

○Step 3 分化・専門化した臨床研究機能によって臨床教育の諸機能が系列化される段階

講座制の影響により、診療科ごとに専門分化した研究機能によって、臨床教育の諸機能が系列化される段階である。

Step 3-a 臨床研究機能が外來実習機能を含みますに臨床講義あるいは臨床病棟機能を系列化する段階

講座制の影響によって研究機能が充実し、病棟実習機能もとりにこむようになった (Step 3-a-1)。また、外來実習機能をのこして、臨床研究機能が臨床講義機能を系列化するもの (Step 3-a-2) があつた。さらに講義機能、病棟機能を伴ってより縦に系列化するもの (Step 3-a-1) があつた。

Step 3-b 臨床研究機能が外來実習機能を系列化する段階

臨床研究機能が外來実習機能を系列化するもの (Step 3-b-1)。また、外來実習機能と臨床講義機能を系列化するもの (Step 3-b-2)。さらに、分棟式あるいは高層化とともに病棟実習までも系列化するものもあつた (Step 3-b-3)。

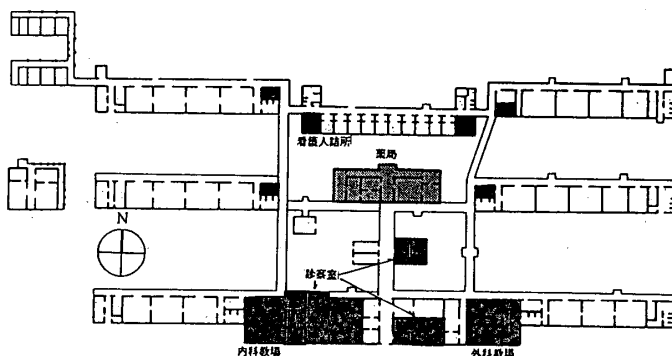


図3-3 東京大学医学部附属病院 (M. 10)

*1九州大学教授 工博 *2有明高専助教授 *3九州大学助手 工博 *4 竹中工務店 *5九州産業大学大学院 *6九州大学大学院